

清泉祭

毎年恒例の清泉祭が、今年で第五十八回をむかえた。今年には台風の影響で二日間とも雨だったが、両日とも幅広い年齢層のお客様が足を運んでくださり、とても賑わった。また同時に高校生向けのオープンキャンパスも開催された。

百四十名の実行委員会が七グループにわかれ、それぞれの役割を果たした。今年のテーマは、個性豊かな清泉の学生と来場されるお客様一人ひとりが花のように輝いてほしいという思いをこめて、「百花繚乱（ひゃっかりょうらん）」に決まった。五十以上の団体が参加し、出し物は大きくわけて展示・販売・発表があり、展示は授業の研修旅行で、現地の物の展示や映像をながし、ポスターで掲示していた。フランクフルトやおでん、たい焼きなど様々な温かい食品が販売された。発表は、主に演奏・演劇・合唱などで、それぞれ団体によって工夫がされていて見応えがあった。他にも有名な俳優をお招きしていた。一日目は、橋本裕太さんにライブを、二日目は白洲迅さんにトークショーを披露していただいた。当日はカメラの撮影も入っていた。今年も小規模な大学ながら、たいへん賑わっていた。

生憎の天候ではあったが、今回のテーマ「笑顔の花を咲かそう」が達成されたのではないかと感じた。ぜひ、来年度以降も足を運んでみてほしい。

清泉祭実行委員長さんにインタビュー！

Q. 今年の注目ポイントは？

A. チャリティーバザーとトークショーです。チャリティーバザーは、日本だけでなく世界にも目を向けて、私たち学生が、世界中のたくさんの笑顔を守るために少しでも協力できることがあるか考え、企画しました。



ミス清泉コンテスト



清泉祭実行委員会



学生会執行委員会

清泉祭公式

キャラクター

すずらんちゃん



学生会執行委員会というのは中高でいえば生徒会のようなものだ。現在二年生が十五名・一年生が十六名、総勢三十一名で活動している。今年の出し物は三つだ。まず初めに、味付きの綿あめ販売。次にロータリーアクトクラブの活動を引き継ぎ女性が作った人形を販売した、この活動はケニアの女性がフェルトで作った人形を販売し売り上げ金全額を寄付するという活動だ。最後に来場者や受験生などを対象に、学内を案内するオープンキャンパスや各学科についての相談室や個人相談などを行った。以上の3つを主に活動した。

まずは綿あめ販売についてだが台風直撃というのもあり雨風との戦いだった。売り場が外という環境の中で綿あめを作らなければいけなかったために形や大きさにダメージを与えた。ゲンボールや袋で風をしのぎながら机を動かすなどして雨風の対策をした。二日間で250本近く販売することができた。ロータリーアクトクラブではフェルトで作られた動物たちを販売し、多くの人を引き付けた。私もその中の一人だ。キリンとゾウのキーホルダー型のフェルトを購入した。オープンキャンパスでは大学に入學してから一人暮らしを始めようとしている女の子が相談をした。その方には学生会の一人暮らし経験者が相談にのるなど、多くの来場者の方を案内した。この活動を通し、地域の方との交流や世界の方へ支援することができ、よい活動になったと感じる。

来年もこれらの活動が継続していったらいい。